観光関連の大学、専門学校

観光業界での大きな課題の一つが「人材不足」だ。日本の成長戦略の柱と位置づけられる観光だが、十分な働き手がなくてはその役割を果たせない。コロナ禍からの回復、そして成長は人材確保が鍵を握る。今回の企画特集は「観光関連の大学、専門学校」。明日の観光業を担う優秀な人材を輩出する９校を紹介する。

明日の業界を担う優秀な人材を輩出

江戸川大学

フィールドワークで観光を学ぶ

江戸川大学は千葉県流山市の駒木キャンパスで観光教育を行っている。流山おおたかの森駅（つくばエクスプレス・東武アーバンパークライン）から無料スクールバスで6分、徒歩だと18分の便利な場所に立地している。

同大のルーツは1931年設立の城東高等家政女学校。「教養ある堅実な女性の育成」を教育理念とし、その指針として「誠実」「明朗」「喜働（きどう）」の三つを掲げた。現在、学校法人江戸川学園は、1990年に開学した江戸川大学をはじめ小・中・高・専門学校の計7校で、約7千人の学生、生徒、児童が学ぶ総合学園となっている。

江戸川大学（駒木キャンパス）

江戸川大学の教育理念は「人間としての優しさに満ち、普遍的な教養と時代が求める専門性により社会貢献できる人材の育成」。つまり「人間陶冶」を掲げている。「情報力を磨き、国際力を育てる」ため、同大学では開学以来、学生全員にノートパソコンを無償貸与。ハイレベルな留学を支援する奨学制度「グローバル・スタディ・プログラム」も整う。同プログラムは、「入学時英検2級以上で初年次学費35万円減免＋夏季海外研修費用免除」「留学費用約10ゼミナールを10人の教員が担当している。

観光学ゼミナールを担当する学科長の崎本武志教授は「現代社会学科の10ゼミナールは全て『観光』というキーワードでつながっています」と話す。同教授はJTBの出身。日本国際観光学会の会長、鉄旅オブザイヤーの審査委員も務めている。

「社会学部現代社会学科では、社会学を基盤にした基礎的な知識とフィールドワークの調査手法を身に付け、多様な研究領域から社会の課題解決にアプローチ。『現場で学び、問題に切り込んで常識を疑い、解決策を提示する』という一連の流れを重視しています。『地域社会（ヒト）』『資源（モノ）』『制度・観光関連業界へ確実に人材を輩出している。

崎本教授

（しくみ）』という三つの視点から現代社会を捉える力を養うとともに、実際に現地を訪れて調査研究を行う『フィールドワーク』で、調査力、発見力、考察力、マネジメント力、解決力を身に付けます。3年次からは10の研究領域から興味関心に合ったゼミナールを選択し、自身の研究テーマを探求していただきます」（崎本教授）。

観光学ゼミナールのフィールドワークでは、JR東日本の柏駅と連携して、JRの駅を基点に周辺地域の魅力を楽しむイベント「駅からハイキング」に参画。スタッフとして参加し、当日の受付、スマホアプリの利用方法の案内なども行い、ホスピタリティを実践で学ぶ場ともなっている。

同学科の卒業生の就職先は、グラブツーリズム、リゾートラスト、秩父鉄道、日光・鬼怒川リゾート鬼怒川温泉山楽、グリーンホスピタリティマネジメント、東横イン、伊東園ホテルズ、休暇村協会、ベストブライダル、ダイナテックなど。観光・観光関連業界へ確実に人材を輩出している。

フィールドワークで世界を知る

江戸川大学 EDOGAWA UNIVERSITY

社会学部現代社会学科

観光に関わる 10 領域の学び

- 観光学ゼミナール
- テーマパーク・観光まちづくり学ゼミナール
- 文化人類学セミナール
- 民俗学ゼミナール
- 環境学ゼミナール
- 自然と人間の共生学ゼミナール
- 博物館学・文化遺産学ゼミナール
- レジャー社会学ゼミナール
- スポーツ社会学ゼミナール（競技）
- スポーツ社会学ゼミナール（公共）

学部・学科の学びやキャンパスライフの魅力がわかる多彩なメニューを体験

オープンキャンパス

※事前申込制

7/15土　8/5土
8/25金　8/26日
9/9土　2024年 3/23土

各日 午前の部 9:30～/ 午後の部 13:00～

- 大学概要説明
- 入試概要説明
- キャンパスツアー
- 模擬講義
- 学部学科の展示コーナー
- 個別相談コーナー（入試・就職・奨学金など）
- 学食体験など

入試アドバイザーが対応

入試相談会

※予約が取れた時間にご参加ください

9/2土 11/3金 祝
学園祭同時開催
各日 9:30～14:00
個別相談　キャンパス案内

詳しくはこちらから

江戸川大学 EDOGAWA UNIVERSITY
〒270-0198 千葉県流山市駒木 474
お問い合わせ先：入学課
0120-440-661
nyushi@edogawa-u.ac.jp
URL edodai.jp

表１　中学校　設置者別・都道府県別の国内修学旅行実施率　（単位：校・％）

地区	都道府県	設置者						合計		
		国公立（含　組合立）			私立					
		実施した	実施せず	実施率	実施した	実施せず	実施率	実施した	実施せず	実施率
北海道計	北海道	36	0	100.0%	4	1	80.0%	40	1	97.6%
東北	青森	12	2	85.7%	1	0	100.0%	13	2	86.7%
	岩手	11	2	84.6%	0	2	0.0%	11	4	73.3%
	宮城	16	1	94.1%	2	0	100.0%	18	1	94.7%
	秋田	12	2	85.7%				12	2	85.7%
	山形	9	0	100.0%				9	0	100.0%
	福島	17	1	94.4%	3	1	75.0%	20	2	90.9%
東北計		77	8	90.6%	6	3	66.7%	83	11	88.3%
関東	茨城	24	8	75.0%	2	1	66.7%	26	9	74.3%
	栃木	24	1	96.0%	2	0	100.0%	26	1	96.3%
	群馬	12	0	100.0%				12	0	100.0%
	埼玉	22	13	62.9%	3	4	42.9%	25	17	59.5%
	千葉	32	4	88.9%	6	6	50.0%	38	10	79.2%
	東京	23	23	50.0%	17	20	45.9%	40	43	48.2%
	神奈川	10	13	43.5%	5	8	38.5%	15	21	41.7%
関東計		147	62	70.3%	35	39	47.3%	182	101	64.3%
中部	新潟	14	14	50.0%	1	0	100.0%	15	14	51.7%
	富山	4	0	100.0%				4	0	100.0%
	石川	5	1	83.3%				5	1	83.3%
	福井	8	1	88.9%				8	1	88.9%
	山梨	9	0	100.0%	1	0	100.0%	10	0	100.0%
	長野	15	0	100.0%	0	1	0.0%	15	1	93.8%
	岐阜	16	0	100.0%	3	1	75.0%	19	1	95.0%
	静岡	13	4	76.5%	8	4	66.7%	21	8	72.4%
	愛知	46	1	97.9%	8	2	80.0%	54	3	94.7%
	三重	15	0	100.0%	0	1	0.0%	15	1	93.8%
中部計		145	21	87.3%	21	9	70.0%	166	30	84.7%
近畿	滋賀	5	1	83.3%	1	1	50.0%	6	2	75.0%
	京都	12	1	92.3%	3	1	75.0%	15	2	88.2%
	大阪	24	3	88.9%	9	2	81.8%	33	5	86.8%
	兵庫	28	1	96.6%	2	0	100.0%	30	1	96.8%
	奈良	4	0	100.0%	1	0	100.0%	5	0	100.0%
	和歌山	16	1	94.1%	1	0	100.0%	17	1	94.4%
近畿計		89	7	92.7%	17	4	81.0%	106	11	90.6%
中国	鳥取	2	0	100.0%				2	0	100.0%
	島根	7	1	87.5%				7	1	87.5%
	岡山	11	0	100.0%	1	2	33.3%	12	2	85.7%
	広島	7	2	77.8%	5	3	62.5%	12	5	70.6%
	山口	9	3	75.0%	2	1	66.7%	11	4	73.3%
中国計		36	6	85.7%	8	6	57.1%	44	12	78.6%
四国	徳島	3	3	50.0%				3	3	50.0%
	香川	5	1	83.3%	0	1	0.0%	5	2	71.4%
	愛媛	6	2	75.0%	2	1	66.7%	8	3	72.7%
	高知	3	3	50.0%				3	3	50.0%
四国計		17	9	65.4%	2	2	50.0%	19	11	63.3%
九州	福岡	11	1	91.7%	4	2	66.7%	15	3	83.3%
	佐賀	2	0	100.0%				2	0	100.0%
	長崎	4	2	66.7%	4	0	100.0%	8	2	80.0%
	熊本	10	2	83.3%				10	2	83.3%
	大分	7	0	100.0%	1	0	100.0%	8	0	100.0%
	宮崎	4	2	66.7%	0	2	0.0%	4	4	50.0%
	鹿児島	9	3	75.0%	3	0	100.0%	12	3	80.0%
九州計		47	10	82.5%	12	4	75.0%	59	14	80.8%
沖縄計	沖縄	2	3	40.0%				2	3	40.0%
全体計		596	126	82.5%	105	68	60.7%	701	194	78.3%

2022年度 国内修学旅行の実施率

中学校78.3%　高等学校54.1%

日本修学旅行協会 発表

日本修学旅行協会は、発刊した「教育旅行年報 データブック2022」の中で、全国の中学校、高等学校が2022年度に行った国内修学旅行の実施率を発表している。

22年度は前年度と同様にコロナの影響を強く受けたが、中学校での修学旅行実施率は全体78・3％、国公立82・5％、私立60・7％で、前回調査（全体47・8％、国公立54・5％、私立20・8％）から大幅に上昇した＝表1。

地域別の実施率は、北海道（97・6％）、近畿（90・6％）が高く、四国（63・3％）、関東（64・3％）が低かった。

高等学校での修学旅行実施率は全体54・1％、国公立56・9％、私立49・3％で、前回調査（全体23・2％、国公立25・0％、私立20・3％）から大幅に上昇した＝表2。

地域別の実施率は、北海道（83・3％）、近畿（69・9％）などが高く、関東（39・6％）や四国（45・0％）などが低かった。

中学校、高等学校ともに前回調査に引き続き海外修学旅行の実施報告はなく、すべて国内修学旅行だった。

表２　高等学校　設置者別・都道府県別の国内修学旅行実施率　（単位：校・％）

地区	都道府県	設置者						合計		
		国公立（含　組合立）			私立					
		実施した	実施せず	実施率	実施した	実施せず	実施率	実施した	実施せず	実施率
北海道計	北海道	40	5	88.9%	10	5	66.7%	50	10	83.3%
東北	青森	3	13	18.8%	1	6	14.3%	4	19	17.4%
	岩手	5	6	45.5%	1	4	20.0%	6	10	37.5%
	宮城	17	3	85.0%	2	0	100.0%	19	3	86.4%
	秋田	8	5	61.5%				8	5	61.5%
	山形	7	3	70.0%	4	2	66.7%	11	5	68.8%
	福島	7	2	77.8%	5	2	71.4%	12	4	75.0%
東北計		47	32	59.5%	13	14	48.1%	60	46	56.6%
関東	茨城	8	10	44.4%	3	1	75.0%	11	11	50.0%
	栃木	10	2	83.3%	1	3	25.0%	11	5	68.8%
	群馬	6	8	42.9%				6	8	42.9%
	埼玉	9	16	36.0%	5	9	35.7%	14	25	35.9%
	千葉	21	7	75.0%	3	9	25.0%	24	16	60.0%
	東京	2	43	4.4%	29	31	48.3%	31	74	29.5%
	神奈川	8	16	33.3%	5	13	27.8%	13	29	31.0%
関東計		64	102	38.6%	46	66	41.1%	110	168	39.6%
中部	新潟	5	4	55.6%	4	3	57.1%	9	7	56.3%
	富山	2	6	25.0%	0	4	0.0%	2	10	16.7%
	石川	4	1	80.0%	0	1	0.0%	4	2	66.7%
	福井	1	3	25.0%	0	1	0.0%	1	4	20.0%
	山梨	6	0	100.0%	0	2	0.0%	6	2	75.0%
	長野	5	2	71.4%	1	4	20.0%	6	6	50.0%
	岐阜	3	8	27.3%	2	5	28.6%	5	13	27.8%
	静岡	18	5	78.3%	11	7	61.1%	29	12	70.7%
	愛知	17	5	77.3%	20	8	71.4%	37	13	74.0%
	三重	2	4	33.3%	2	3	40.0%	4	7	36.4%
中部計		63	38	62.4%	40	38	51.3%	103	76	57.5%
近畿	滋賀	5	3	62.5%	2	0	100.0%	7	3	70.0%
	京都	3	1	75.0%	2	3	40.0%	5	4	55.6%
	大阪	15	4	78.9%	18	6	75.0%	33	10	76.7%
	兵庫	17	5	77.3%	5	3	62.5%	22	8	73.3%
	奈良	2	1	66.7%	1	1	50.0%	3	2	60.0%
	和歌山	1	3	25.0%	1	1	50.0%	2	4	33.3%
近畿計		43	17	71.7%	29	14	67.4%	72	31	69.9%
中国	鳥取	0	2	0.0%	0	1	0.0%	0	3	0.0%
	島根	2	2	50.0%	1	2	33.3%	3	4	42.9%
	岡山	4	4	50.0%	4	5	44.4%	8	9	47.1%
	広島	11	3	78.6%	3	4	42.9%	14	7	66.7%
	山口	6	2	75.0%	5	3	62.5%	11	5	68.8%
中国計		23	13	63.9%	13	15	46.4%	36	28	56.3%
四国	徳島	2	4	33.3%				2	4	33.3%
	香川	6	2	75.0%	2	1	66.7%	8	3	72.7%
	愛媛	4	10	28.6%	3	3	50.0%	7	13	35.0%
	高知	0	2	0.0%	1	0	100.0%	1	2	33.3%
四国計		12	18	40.0%	6	4	60.0%	18	22	45.0%
九州	福岡	5	5	50.0%	9	6	60.0%	14	11	56.0%
	佐賀	4	5	44.4%	0	2	0.0%	4	7	36.4%
	長崎	11	3	78.6%	3	1	75.0%	14	4	77.8%
	熊本	4	5	44.4%	0	2	0.0%	4	7	36.4%
	大分	3	1	75.0%	0	2	0.0%	3	3	50.0%
	宮崎	3	1	75.0%	0	3	0.0%	3	4	42.9%
	鹿児島	10	3	76.9%	2	4	33.3%	12	7	63.2%
九州計		40	23	63.5%	14	20	41.2%	54	43	55.7%
沖縄計	沖縄	0	3	0.0%				0	3	0.0%
全体計		332	251	56.9%	171	176	49.3%	503	427	54.1%